



菓子職人の伝統の技「秋の練り切り菓子」を選ぶ参加者

鶴岡の食とまち歩きを楽しむ企画として、昨年に引き続き開催。今回は「つるおか歴まちday」の連携事業として実施され、関連団体の協力により、各見学施設においては、普段なかなか聞くことのできない解説に参加者は熱心に耳を傾けていました。
また、昼食は「秋のごっつお昼膳」と題して、新米の庄内米塩むすびと藤沢かぶの漬物、芋煮汁、焼き魚(秋鮭の醤油漬)、なめこの醤油煮、もつてのほかのおひたし、いちじくの甘露煮というお品が並び、鶴岡の郷土料理を堪能しました。
各スポットのフードステーションでは、弁慶めしや山ぶどう原液の他、複数の菓子店の協力により、いちじくやあげびなどをモチーフにした練り切り菓子など秋が感じられるものを召し上がっていただきました。



歴史的建造物めぐりの様子...旧西田川郡役所
初代県令三島通庸の命により建築。棟梁は鶴岡の大工町(現在の陽光町)に生まれた高橋兼吉。兼吉は、荘内神社殿や湯田川の由豆佐売神社など寺社建築のほか、庄内地方に現存する多くの洋風建築物を建てました。

10/8 SAT

学んで 歩いて 食べて

歴史的建造物めぐり&ぐるめウォーク開催

ARで更に詳しく!

まちなかの観光スポットには、拡張現実(AR)の技術を利用して、設置したマーカーをスマートフォン端末のカメラでスキャンすることで、動画や写真が取得できるプレートが設置されています。



今回巡った歴史的建造物

- ◎庄内藩校致道館
- ◎田麦俣の多層民家(致道博物館)
- ◎三井家蔵座敷
- ◎荘内神社
- ◎旧西田川郡役所(致道博物館)
- ◎旧風間家住宅内申堂
- ◎鶴岡カトリック教会天主堂
- ◎新茶屋(外観)
- ◎旧鶴岡ホテル
- ◎大貫館
- ◎旧恵比寿屋本店小池薬局 ※年代順

「学ぶ・歩く・食」が、ぎっしり詰まった内容に参加者からは、「鶴岡のまちなかにこんなにも歴史的建造物が残っていることに驚いた。全国に発信して、たくさんの方に来てほしい」「食のふるまひも大変おいしく、鶴岡の食文化の素晴らしさを再認識することができた」などの感想がありました。



鶴岡カトリック教会ではゆっくり時間が流れる気がしました...



初めて入るとい方が多かった「旧恵比寿屋本店小池薬局」



女性活躍セミナー開催

市内の高校を卒業する女性の8割近くが地元を離れ、人口減少の大きな原因になっている現状や、女性活躍推進法の施行などを背景に、女性が働く場の確保と活躍できる環境づくりを考えるセミナーを2回に渡り開催しました。

8/23 火
第1回目は、内閣府男女共同参画会議議員で女性労働協会会長の鹿嶋敬氏を講師に迎え、経営者や管理職、職場リーダー等を対象に開催。約40名が参加し、男女共同参画計画や女性活躍推進法などの政策、女性の労働をめぐる現状と課題など、女性活躍推進に取り組む意義や基本的な方向性を学びました。



9/29 木
第2回目は、働く女性が職場で一層活躍していくスキルを磨くため、女性労働協会認定講師で鎌倉人材育成ラボ代表の柳幸枝氏を講師に迎えて開催。約30名の女性が参加し、和やかな雰囲気の中でグループワークも行いながら、自身のキャリア形成を真剣に考えていました。

女性会豆知識

女性会は県内の7商工会議所に設置され全国組織となっています。

女性会 鶴岡・酒田商工会議所女性会合同研修会開催 鶴岡・酒田の相互理解深める



日時/平成28年9月15日(木) 玉川寺に於いて昼食交流会

相互の魅力を知る企画として営業活動の向上に繋げる交流をしています。今回は企業見学として2社を訪問しました。

水澤化学工業(株)水沢工場 (有)木村屋ファクトリーガーデン

生活に直結するものを生産していることや地域貢献活動に親近感がわきました!

徹底した衛生管理と設備にみなさんは大変感心されていた様子でした。



日時/平成28年10月8日(土) 場所/鶴岡銀座通商店街

「つるおか女将鍋」は、庄内野菜をたっぷり使用し、会員が持つレシピと知恵を出し合い、醤油ベースで仕上げました。鍋は完売し、「里芋で作っただんご」が美味しかったというお声をいただきました。みなさんのご協力ありがとうございました!

第14回 「ぎんぎ鍋対決」 当女性会が優勝しました!

青年部 「インフィニティ・ラボ」施設見学と研究体験 研究で多くの人を幸せに 科学の可能性を学ぶ



日時/平成28年9月27日(火) 場所/先端研究産業支援センター(鶴岡メタボロームキャンパス)

青年部総務委員会が企画する例会が開かれ、インフィニティ・ラボの代表として分析コンサルティング、分析機器装置等の保守点検を主な事業として活躍している同じく青年部の石川貴正氏より研究内容をご紹介していただきました。

研修では、市民から提供された血液を利用した次世代の疾病予防についての研究や、メタボロームがん研究などについて説明された他、研究体験では血しょう検体の前処理として試料から代謝物質の抽出までの作業を行うなど、分析業務の一端を体験しました。

普段触れる機会のない実験道具に会員のみなさんも興味津々で研究の新たな可能性を知る機会となりました。



場所/青森県弘前市・深浦町 日時/平成28年9月27・28日

観光部会 弘前路地裏探偵団と歩く 「夕暮れ路地裏散歩」を体験

弘前市は弘前公園を中心に、多くの観光客が訪れる城下町。ねぶたなどまつりを主とした観光を推進してきましたが、近年期間外の観光資源としていつでも楽しめる「まち歩き」にも力を入れています。今回は、夕方からの「路地裏探偵団」(商店主などで構成されている観光ガイド)の案内で市民が通う市場やライトアップされた歴史的建造物を巡りました。

翌日は、人口わずか8,900人の町に「マグロステーキ丼」を食すために、多くの人が訪れている深浦町へ。仕掛け人・鈴木マグロー氏(深浦町役場観光課主幹)より講話をいただき、その後、実食。ユネスコ食文化創造都市鶴岡として「食文化」と「地域づくり」を考えるきっかけになりました。



日時/平成28年9月1~3日 場所/石川県金沢市、岐阜県白川村、高山市 富山県宇奈月町

金融部会 地域で挑戦する観光業 連携体制のあり方を視察

北陸新幹線の延伸により石川県内の観光客が急増しており、江戸の町家を復元したひがし茶屋街には例年の倍以上の人が訪れています。駅周辺には、着姿で歩く若者や観光客が多く見られ、街全体での雰囲気づくりが印象的でした。

世界遺産の白川郷では、村民1600人ほどの村に年間150万人もの観光客を受け入れる地域の連携体制や、インバウンド対策についてを村役場の方よりお聞きしました。

岐阜県は、早期から海外戦略に取り組んでおり、県知事自らセールスを行うなどして外国人観光客の誘致を進めたこと、観光資源を整備・確保し、それぞれの役割を果たすことで通常では考えられない規模の受け入れを可能としていました。